

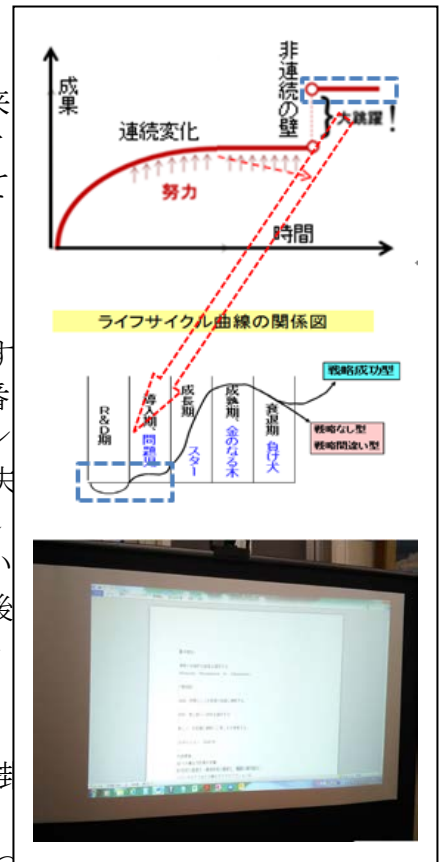
「非連続の壁」と飛んでもない発想

1. 生活スタイルの課題

右掲は、671号でもご紹介した「非連続の壁」のグラフに「成長曲線」を付加えたものです。633号で五木寛之著の「白秋期」に50～75才と示されていることから、70才になる自分の生き方を見直して来ました。経営コンサルタントを志して創業24年を超えて安定した経営環境で推移していますが、残念な事にお客様との距離感が出て来て私の出番が少なくなり、代わりに三男がIT関連で活躍するようになってるので、上の連続変化のグラフのように私自身の「伸びしろ」はなくなってきて、逆に、退行気味になっています。

本来なら、一念発起して「非連続の壁」にチャレンジすべきなのですが、新規課題には成長曲線にあるようにR&D期や導入期という一番努力のいる時期があるので自然の成り行きに任せています。チャレンジの面では、趣味でカラオケにチャレンジして約6年になり、三波春夫さんの俵星玄蕃から始まり、最近では福田こうへいさんや三山ひろしさん・和田青児さん・成瀬昇平さん等に幅を広げて新曲に挑戦しています。我流なので音程一致率が80%程度なので総合点は90点前後ですが、時々、教えて頂く大先輩の長友さんは民謡師範なので歌唱力が高く94点前後なのでそれを目標にしています。

こんな具合ですが、下の写真にあるように、事業承継を2025年に行うと公言して、徐々に移行する準備として経営指針書づくりに取り掛かっています。671号で書いた自社流の指針書づくり法があり、その流儀に従って、プロジェクターで投影しながら各ステップを検討し合っています。お陰様で、若い感覚の意見が出ています。



2. 若い芽を伸ばす

弊社は右掲にあるように社名 AMI(仏語:仲間)が示すように「情報で先進的な経営を支援する」が基本理念であり、それに伴う行動指針を掲げています。小さな会社ですが、創業24年の社歴でお客様があり、ご厚意で業務システムを構築し、他社とのEDI取引の業務効率化や入札の原価計算や業績分析などを提供するシステム部門とHPなどのデザイン部門があり、技術を通して貢献しています。

三男は2010年(平成22年)に入社して社歴9年になり32才で伸び盛りです。長い助走期がありましたが、ようやく成長期に入ったかと思うようになって来ました。また、人間的な成長の為に、中小企業家同友会の青年部会に参加して、若い世代の方々と交流する事で人格的に磨かれています。社内の閉鎖的な環境ではなく、青年部会という開放的な環境で鍛えられる意義に感謝しています。お陰様で、お客様や知人・友人に恵まれて精神的にも強くなり信念をもって自身の道を切り拓くようになって来ました。このような三男の育成支援が会社の「非連続の壁」を突破になると期待しています。

その他にも企業として強化すべき項目として金融機関との関係では、商工会議所のお世話で日本政策金融公庫のマル経融資で低利融資の道を拓き投資資金を確保する事が可能になっており、経営計画で投資案件を描いたことを実現可能な環境になっています。中期計画や当年度計画を描き、その実現に必要な人材・技術・販促・設備などの各項目をシッカリと描き、資金面でも現実的に支援できるような環境を整えています。

- 理念(AMI:仏語 仲間)
情報で先進的な経営を支援する
(Advanced Management with Information)
- 行動指針
仲間 仲間としてお客様の発展に貢献する
技術 常に新しい技術を提供する
楽しい お客様に貢献して楽しさを実感する

3. 生活スタイルの「非連続の壁」

第1項で「生活スタイルの課題」を取り上げています。何故なら、私自身が70才になり体力的な変化を実感し始めたからです。先行モデルとして10年先輩をベンチマークしていましたが、その方々がお亡くなりになり現実的なターゲットがなくなり、その上同じ世代の方の訃報が多くなっているからです。右掲は、ここ数年、実施している QOL 対策です。「持続可能」を前提として、少し遠回りするウォーキングや家電調理器を活用した自炊で栄養管理に心がけて、さらに、脳の活性化の為に昼休みを兼ねて30分で115円で6曲を一人カラオケで機械相手に楽しんでおり、時々、いい声と評価してもらったり90点台の点数を出したりしています。

持続可能な QOL 対策

1. 運動
自宅と事務所間のウォーキング
2. 栄養
自炊で低塩分化
3. 趣味
30分カラオケ

しかし、連続変化の壁、つまり、マンネリ状態にあるのも事実です。自宅と事務所間のウォーキングは約1.5kmで昼の食事自宅で頂いているので2往復で6kmになります。この6kmで十分に健康面で効果があるのですが、ダイエットの面では身体が織り込んでしまって低迷中です。自炊も同じです。朝はパン食、昼は麺類、晩は家電調理器などを活用する料理なのでメニューがパターン化しています。カラオケも我流なので発声法に難があるのか音程バーから外れていないのに音程一致率が80%程度に留まり、時々ご一緒する民謡師範だった長友さんは音程バーから外れても音程一致率が85%以上で総合点も94点台を出しておられます。やはり、自己満足の世界でも機械の点数が高いと嬉しいので、最近、長友さんからリズム感がないと指摘を受けロングトーン時にリズムを入れるようにしたら少し点数が向上しました。

このように、ここ数年実践している健康法は定着しているのですが、総合的に見ると仕事の時間が減って来ているので空き時間から来る集中感の欠如、つまり、「マンネリ感」が大きくなってきたのです。同年代の方はリタイアされて第2の人生に入っておられるので、その適応の仕方を学びたいと思っています。「自分—仕事=ゼロ」というような私なので、全く、仕事から解放された方の持続可能な健康法からヒントが得たいと思っています。

4. 飛んでもない発想

「非連続の壁」はグラフでも分かるように現実の延長戦上ではないのです。ギャップがあるので。70才になり保守的傾向が強くなっているが、意識的に「面白い」と思うようにして、意外な新しいことを発見したいと思います。イージーには周囲の方がおっしゃるように地域活動や妻に先立たれているので新しいパートナーを探すことなのですが、例えば、持続的な活動としてグランド・ゴルフをされていますが、これならゴルフ場の会員なのでグランド・シニアに参戦する方を選びたいという自分のこだわりがあります。女性という点では、異性と見るには周囲の方々は同じ年代すぎるので魅力を感じないでいます。贅沢ですが、心ときめくような女性の出現がない限り、まあ、茶飲み友達程度と思っています。

今年の7月に所属している中小企業家同友会の支部例会で報告したように、私の人生を振り返ると「飛んでもない」がキーワードだったのです。http://www.web-ami.com/d_b/038.pdf 今、経済的に年金も十分に頂き、自宅・事務所・駐車場も完済済みという財務的余裕があるので、会社からの報酬を低く抑えて、三男へ移行ステップに入っています。今後、時間的余裕が増大するので、その時間を有意義に使いたいと思います。「百歳現役」を目指して若い世代と一緒にあって、孫の成長を願う心境で新しいことにチャレンジする支援をして行きたいと思います。お陰で一般並の貯蓄も出来つつあるので、それを原資に大恩ある故福井社長の「ポケット・マネー」の発想で気軽に支援したいと思います。百年企業の礎を築く支援が現実的な余生と思い、その結果、飛んでもない事が起こると信じて行きたいです。

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryu.html> にあります！】